



第35回(平成23年度) 久留米市民意識調査 報告書《速報版》

 水と緑の人間都市・久留米

I 調査のあらまし

(1) 目的

市民意識調査は、今後の市政運営の基礎資料を得るために毎年実施しているものです。今回の意識調査は、主に①行政施策 ②安全・安心のまちづくり ③市民との協働推進 ④広報 ⑤障害者福祉 という5つのテーマについて実施しました。

①行政施策 「久留米市新総合計画」で指標とする項目など33項目について、「重要度」と「満足度」に分けて調査しています。科学的に市民の皆さんの意識、意向を把握できるように努めています。

②安全・安心のまちづくり 自然災害やけが、事故、犯罪への不安、食料備蓄など災害への備え、セーフコミュニティの認知度等について調査しています。地域防災計画の見直しなど市民ニーズに沿った防災対策や、セーフコミュニティの取り組みなど安全・安心のまちづくりの基礎資料として活用します。

③市民との協働推進 市民活動の参加状況や地域課題への取り組み方、自治会への加入等について調査しています。市民との協働を推進するための方針づくりや取り組みに活用します。

④広報 「広報くるめ」の満足度や利用状況等について調査しています。広報に対する市民ニーズを把握し、広報くるめ紙面の見直しに活用します。

⑤障害者福祉 障害者福祉に関する関心度、障害のある人に対する接し方や重点的な支援策等について調査しています。障害者計画の見直し等の基礎資料として活用します。

(2) 調査方法

- | | |
|------------|--|
| ○ 調査地域 | 久留米市全域 |
| ○ 調査対象者 | 久留米市に在住する満20歳以上の人 |
| ○ サンプル数 | 2,000 |
| ○ 抽出方法 | 住民基本台帳からの二段無作為抽出法 |
| ○ 実査方法 | 調査票を郵送し、調査員が訪問回収を行う郵送法併用の留置法
(調査票は封筒に封入したものを回収) |
| ○ 実査期間 | 平成23年7月27日～8月5日 |
| ○ 回収数(率) | 1,777票(88.9%) |
| ○ 調査の企画と実施 | 企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課
実施 西日本新聞社 マーケティング室 |

II 主な調査結果

1. 行政施策

(1) 施策の重要度・満足度

◆「消防・救急救命対策」は、満足度、重要度ともに高い項目です。

問 久留米市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、次の市の取り組みについておたずねします。

(A) あなたは、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたは、この取り組みにどの程度満足していますか。

それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

■重要度・満足度の得点化の手順■

重要度	得点	満足度	得点
1. 重要	→ 6点	1. 満足	→ 6点
2. やや重要	→ 4点	2. やや満足	→ 4点
3. あまり重要でない	→ 2点	3. やや不満	→ 2点
4. 重要でない	→ 0点	4. 不満	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)	5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

33 項目の行政施策に対する評価を得点化し、分析を行っています。

$$\text{重要度(満足度)得点} = \frac{(\text{選択肢 1}) \times 6 + (\text{選択肢 2}) \times 4 + (\text{選択肢 3}) \times 2 + (\text{選択肢 4}) \times 0}{(\text{選択肢 1} \sim \text{選択肢 4 の回答者数})}$$

※例えば、仮に全員が「2. やや重要」を選んだ場合、その施策の重要度得点は4点となります。

■重要度が高い10の取り組み■

順位	項目	昨年順位	3	4	5	6(得点)
1位	消防・救急救命対策	1位	5.57			
2位	地域医療体制の充実	2位	5.50			
3位	生活排水処理の整備	4位	5.46			
4位	防犯対策	3位	5.40			
5位	労働・雇用対策	5位	5.32			
6位	生活道路や側溝の整備	7位	5.31			
7位	ごみ処理対策	8位	5.28			
8位	高齢者福祉の充実	6位	5.27			
9位	防災対策	9位	5.26			
10位	バリアフリー化対策	11位	5.04			

(全体平均：4.80)

■満足度が高い10の取り組み■

順位	項目	昨年順位	2	3	4	5(得点)
1位	四季のイベントの振興	1位	4.19			
2位	消防・救急救命対策	2位	3.72			
3位	地域医療体制の充実	3位	3.71			
4位	健康づくり対策	6位	3.53			
5位	ごみ処理対策	5位	3.52			
6位	生活排水処理の整備	4位	3.44			
7位	文化芸術活動の支援・充実	10位	3.34			
8位	市民自らが進めるまちづくり活動の振興	9位	3.31			
9位	環境美化対策	8位	3.28			
10位	スポーツ・レクリエーション推進体制の充実	11位	3.24			

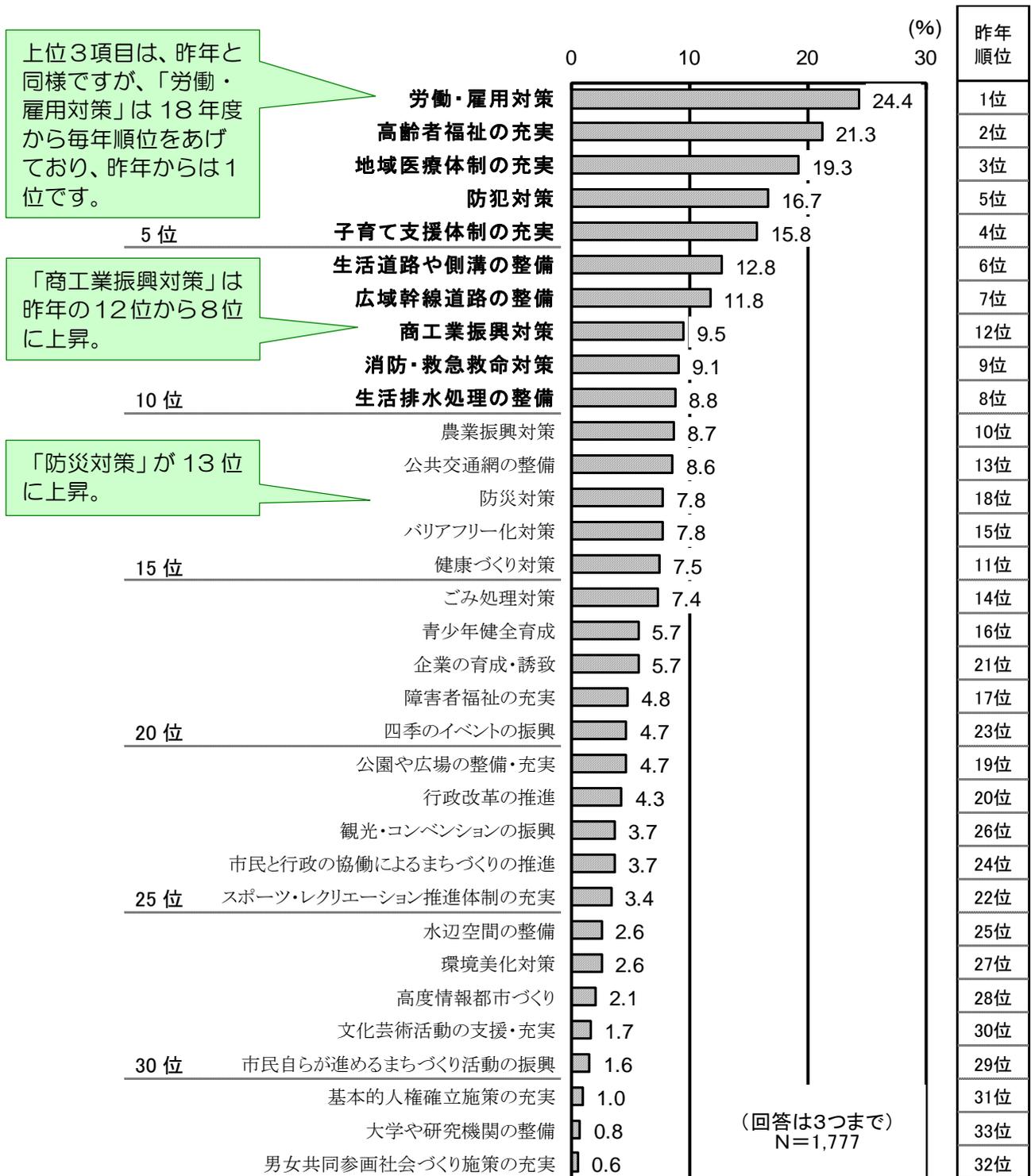
(全体平均：2.96)

(2) 特に力を入れてほしいこと

◆「労働・雇用対策」が昨年に引き続き第1位。

問 行政施策の中で、「特に力を入れて欲しいもの」を3つまで（2つ以内でも構いません）選び、その項目の番号を下の □ 内に記入してください。

■特に力を入れて欲しい行政施策■



上位3項目は、昨年と同様ですが、「労働・雇用対策」は18年度から毎年順位をあげており、昨年から1位です。

「商工業振興対策」は昨年の12位から8位に上昇。

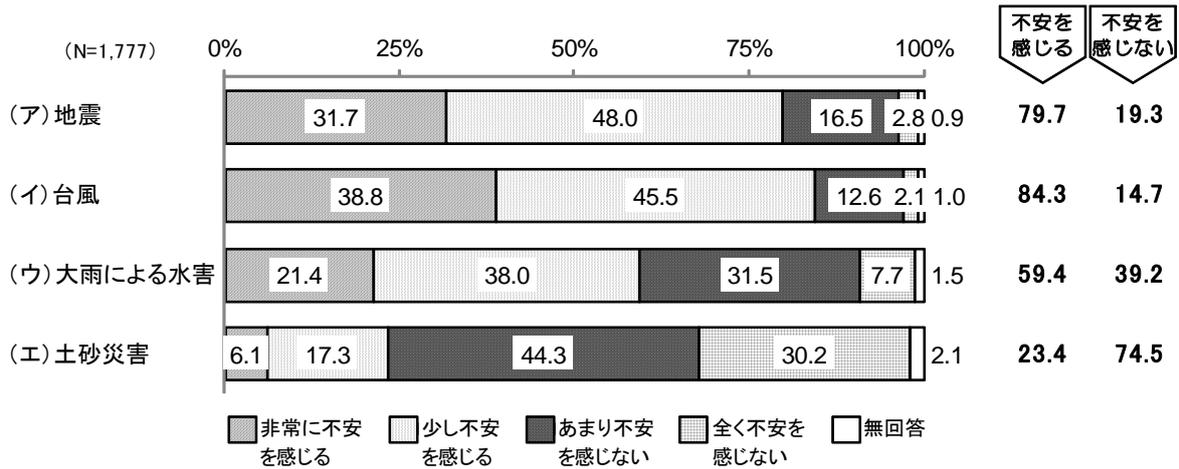
「防災対策」が13位に上昇。

2. 安全・安心のまちづくり

(1) 災害への不安

◆「台風」と「地震」への不安を感じる人が8割前後。

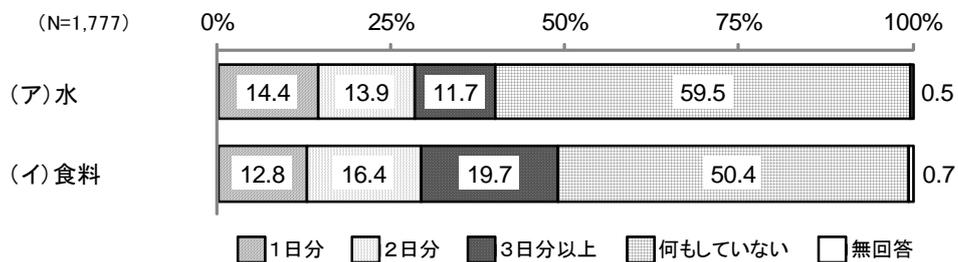
問 あなたは、お住まいの地域で、次のような災害にあうかもしれないという不安を感じますか。（あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印）



(2) 家庭における災害への備え

◆3日以上の備蓄をしている人は、「水」11.7%、「食料」19.7%。「何もしていない人」が半数以上。

問 地震などの災害時に電気・水道・ガスなどがストップした場合に備えて、あなたのご家庭では水や食料をどの程度備蓄していますか。（あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印）



注：災害時に備え、食料・水及び生活必需品は、3日以上備蓄が必要です。

(3) 避難所の認知

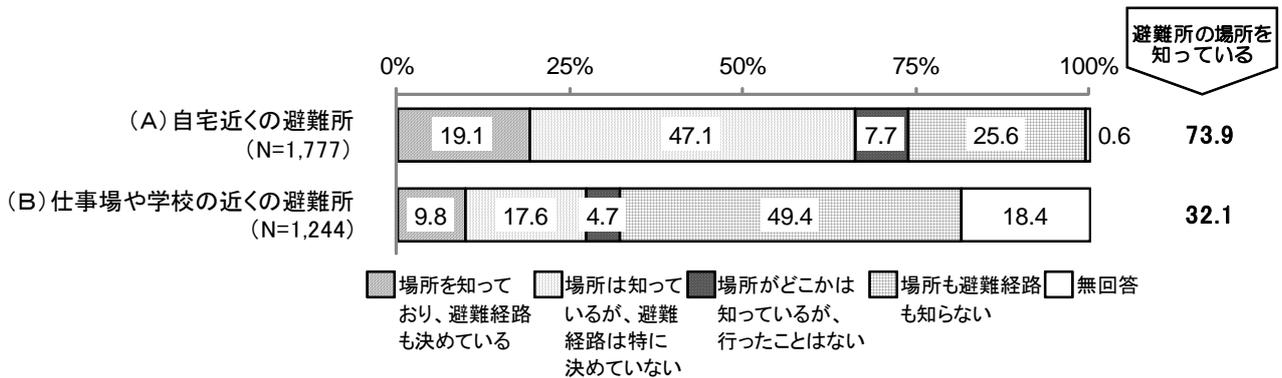
◆「自宅近くの避難所」の認知は73.9%と高くなっているが、「職場や学校の近くの避難所」の認知は32.1%で、知らない人が多い。

問 久留米市では、災害が起こった時のために、校区内の公立小中学校やコミュニティセンター、市役所関連施設などを避難所に指定しています。次の(A)(B)について、あてはまるものを選んでください。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印)

(A) 自宅近くにある避難所の場所を知っていますか。

(B) 通勤・通学をされている方にお聞きします。

あなたの職場や学校の近くにある避難所の場所を知っていますか。

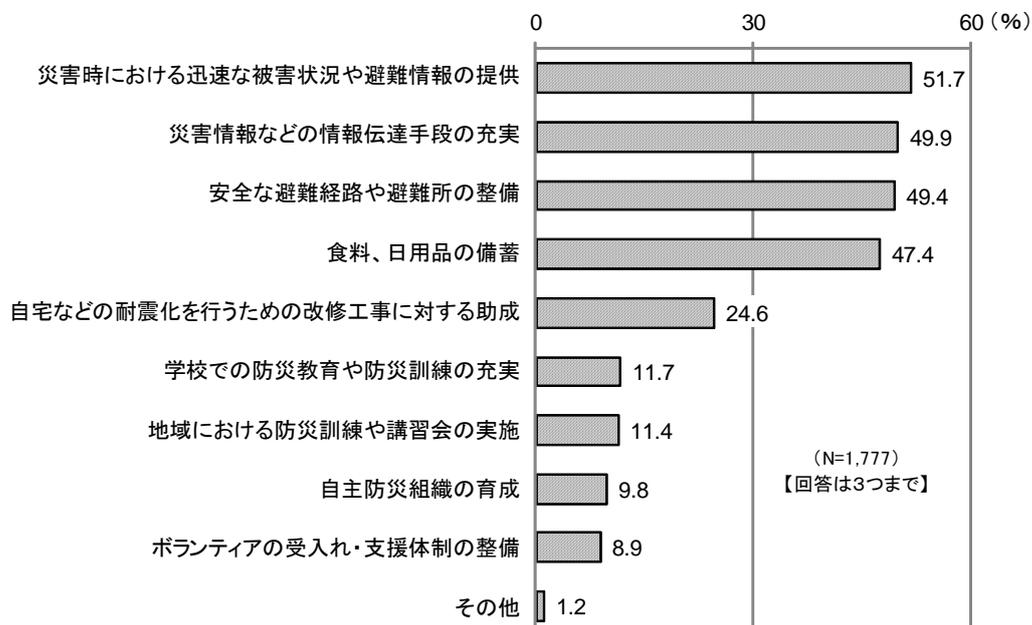


★「自宅近く」と「職場や学校近く」の両方とも、「避難経路まで決めている」割合は、「避難所の場所を知っている」の3分の1程度まで減少します。

(4) 防災対策

◆「迅速な被害状況や避難情報の提供」「情報伝達手段の充実」とともに「避難場所の整備」や「食料、日用品の備蓄」が上位。

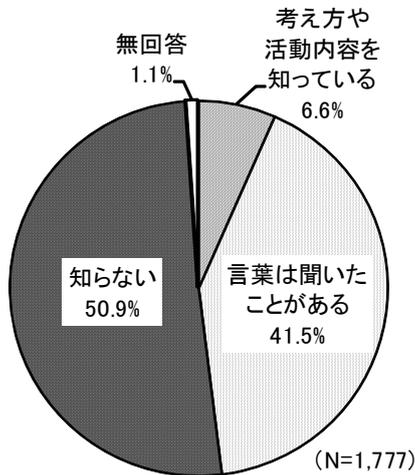
問 今後、久留米市が防災対策を進める上で、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(あてはまる番号に3つまで〇印)



（5）セーフコミュニティについて

◆「セーフコミュニティ」の認知は5割弱。

問 あなたは、WHO（世界保健機関）関連機関が提唱する「セーフコミュニティ」のことを知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



※「セーフコミュニティ」……

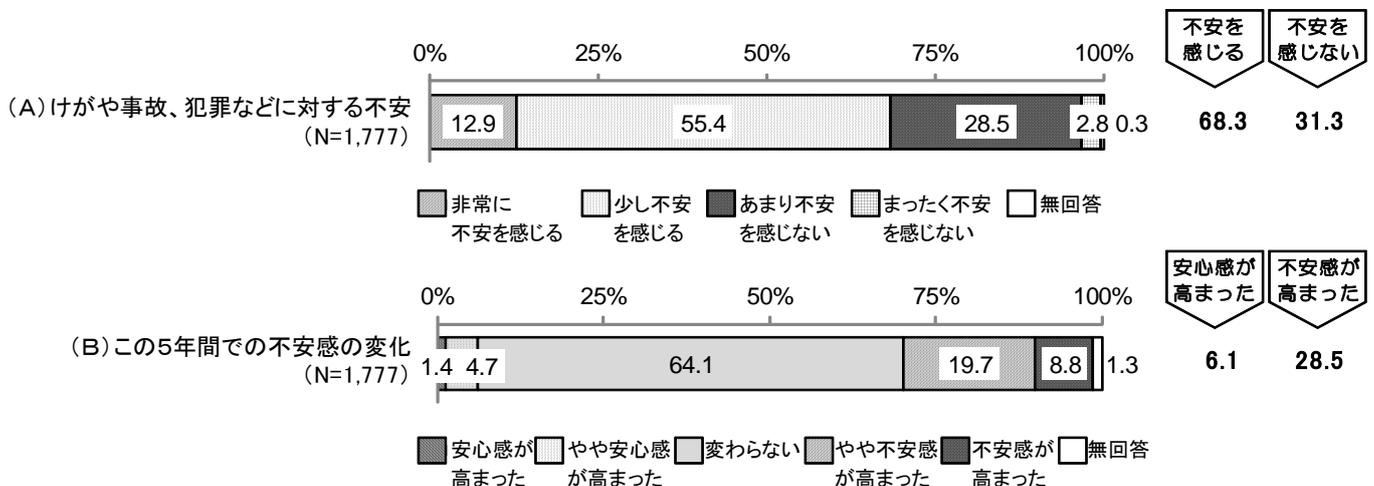
「けがや事故などは、偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防することができる」という考えのもと、行政や地域、事業者などとの連携・協力により、すべての人が安全に安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるものです。

（6）身近に起こり得るけがや事故、犯罪などについて

◆けがや事故、犯罪などへの不安を感じている人は7割弱。この5年間で不安感が高まった人が3割弱。

問 （A）あなたは、お住まいの地域でのけがや事故、犯罪などに対する不安を感じていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

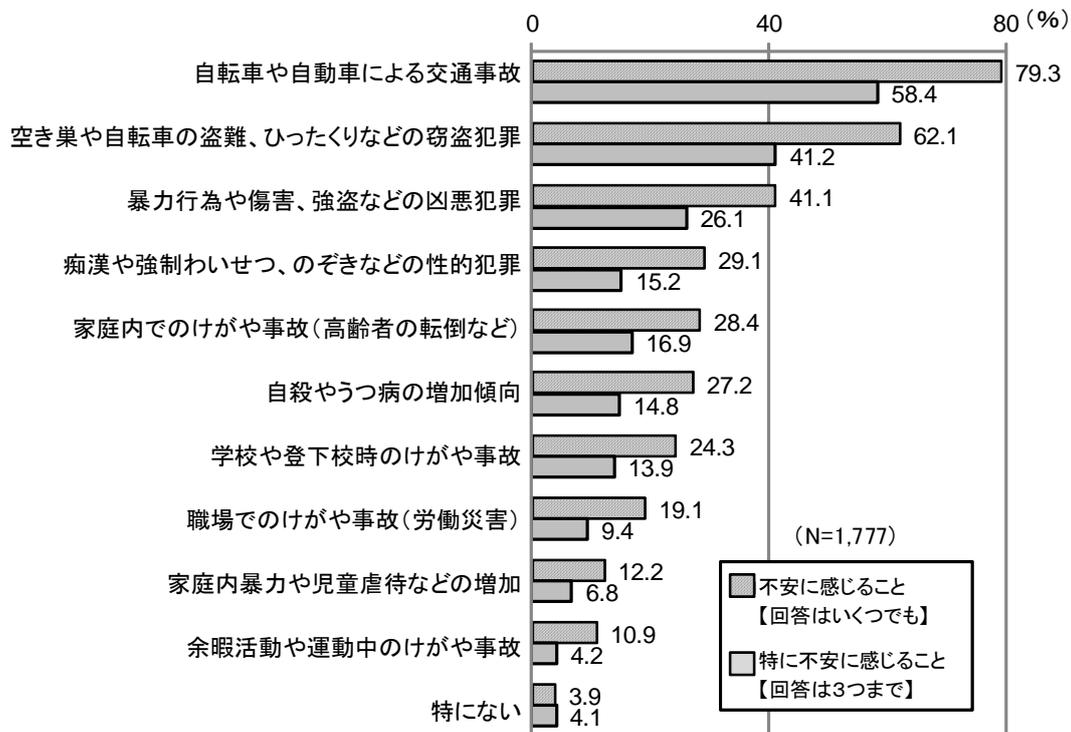
問 （B）では、この5年くらいの間で不安感に変化しましたか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



◆「交通事故」や「空き巣・窃盗犯罪」への不安が高い。

問 (A) あなたやあなたのご家族がふだん生活する中で、不安に感じることは何ですか。次にあげるものの中から、不安に感じるものをいくつでも選んでください。(あてはまる番号にいくつでも○印)

(B) さらに、特に不安に感じるものを3つまで(2つ以内でも構いません)選び、下の枠内に番号を記入してください。

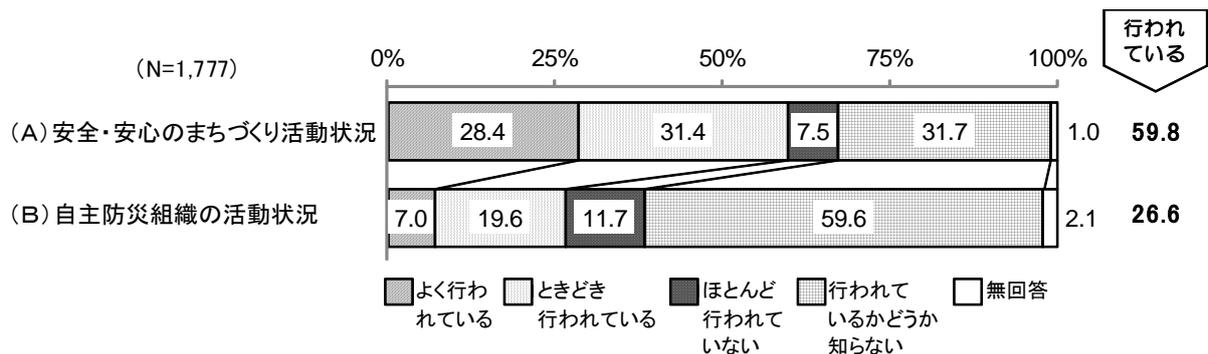


(7) 地域の自主的な活動

◆安全・安心のまちづくり活動は「行われている」が約6割。校区の自主防災組織の活動は「行われているか知らない」が約6割。

問 (A) あなたのお住まいの地域では、住民の自主的な交通安全活動や防犯活動、見守り活動といった、安全・安心のまちづくり活動が行われていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

(B) あなたのお住まいの地域では、校区コミュニティ組織などを母体とした自主防災組織の活動が行われていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

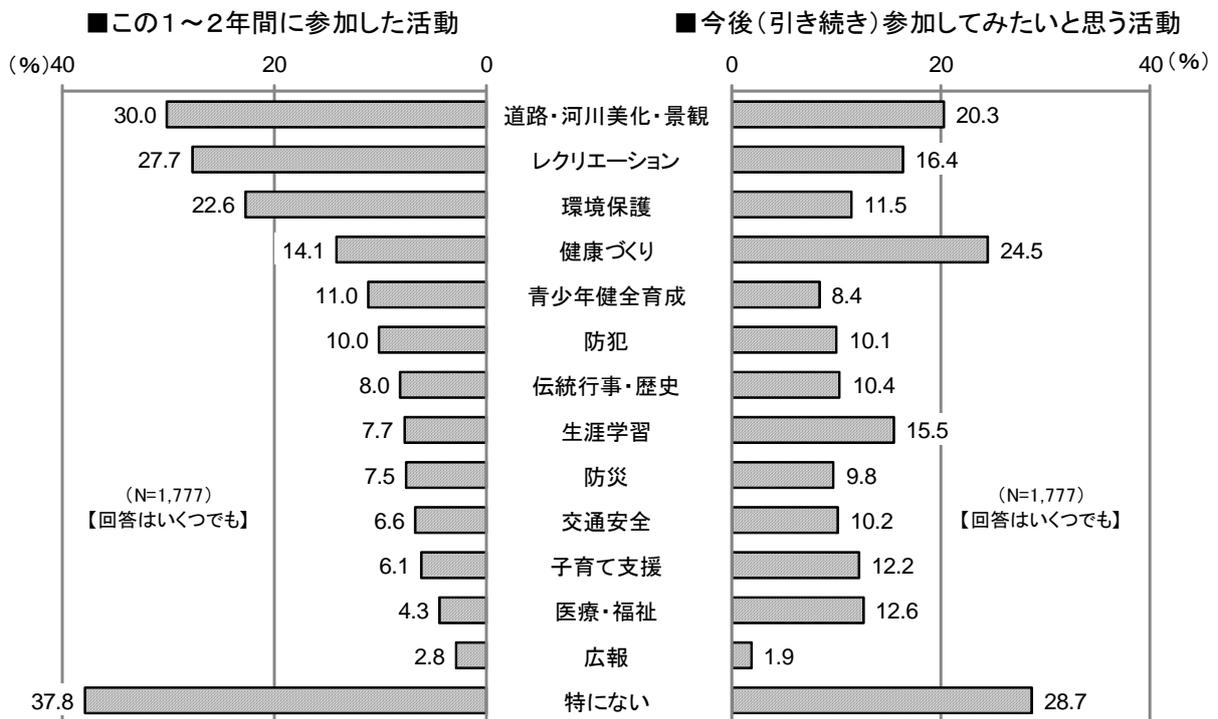


3. 市民との協働推進

(1) 地域活動への参加と今後の意向

◆「道路・河川美化・景観」「レクリエーション」には約3割が参加。今後参加してみたい活動では「健康づくり」が上位。

問 (1) あなたは、この1～2年間に、次のような地域活動、ボランティア活動、NPO活動などに参加したことがありますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)
 (3) (1)の1～13の活動で、あなたが今後引き続き、あるいは新しく参加してみたいと思う活動は何ですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

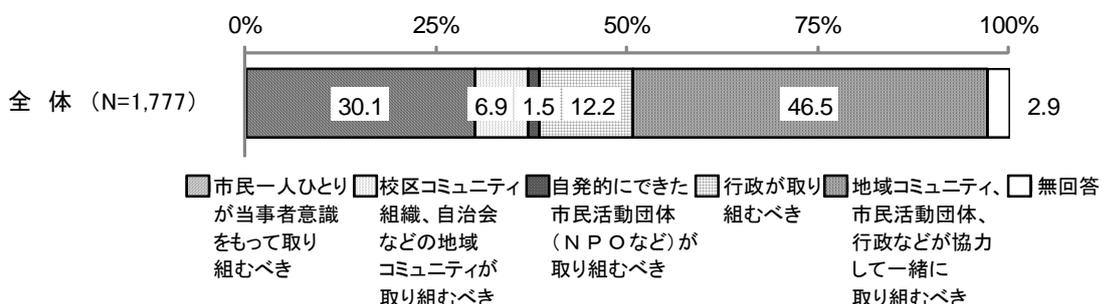


★「特にない」37.8%と「無回答」5.7%を除いて、56.5%が何らかの活動に参加している。

(2) 地域課題への取り組み方

◆地域の課題に対して「行政が取り組むべき」は12.2%。「地域コミュニティ、市民活動団体、行政等が協力して取り組むべき」が46.5%。

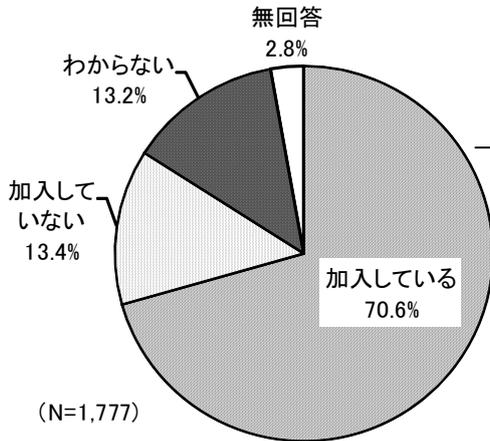
問 地域の課題に対する、行政、市民（団体）、地域活動団体の取り組み方について、次のような考え方があります。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。(あてはまる番号に1つだけ○印)



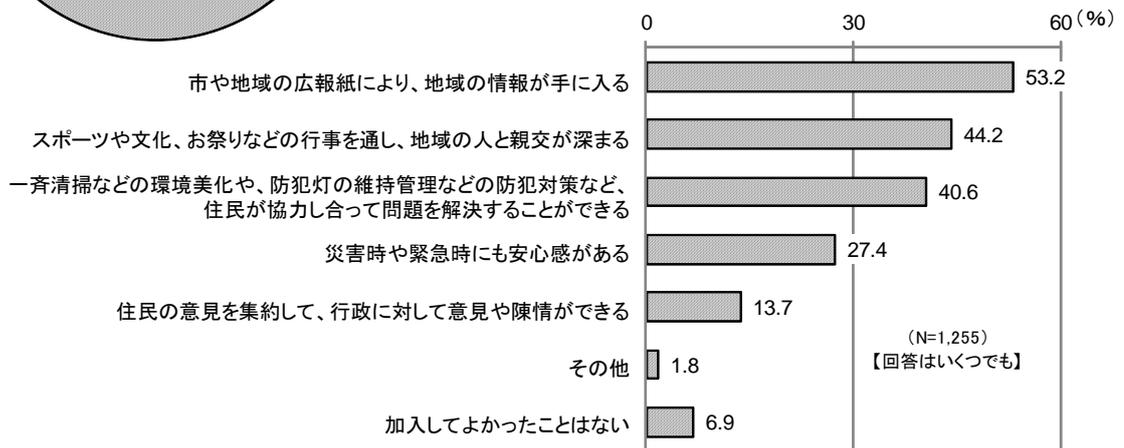
(3) 自治会活動について

◆自治会へ「加入している」人は約7割。
加入して良かったことは「地域の情報が手に入る」ことが最も高い。

問 あなたは、居住している地域の自治会に加入していますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

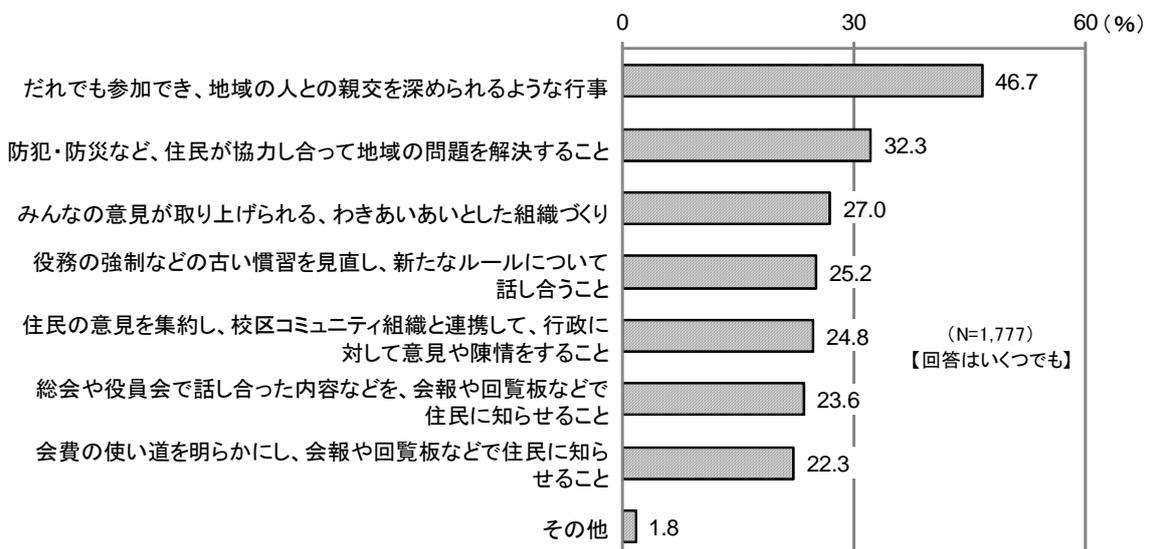


付問. 「1. 加入している」に回答した人
加入してよかったと思うことは何ですか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆今後の取り組みとして「だれでも参加でき、地域の人と親交を深められる行事」「住民が協力し合って地域の問題を解決すること」が上位。

問 自治会において、今後どのようなことに取り組んだらよい、または取り組むべきだと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

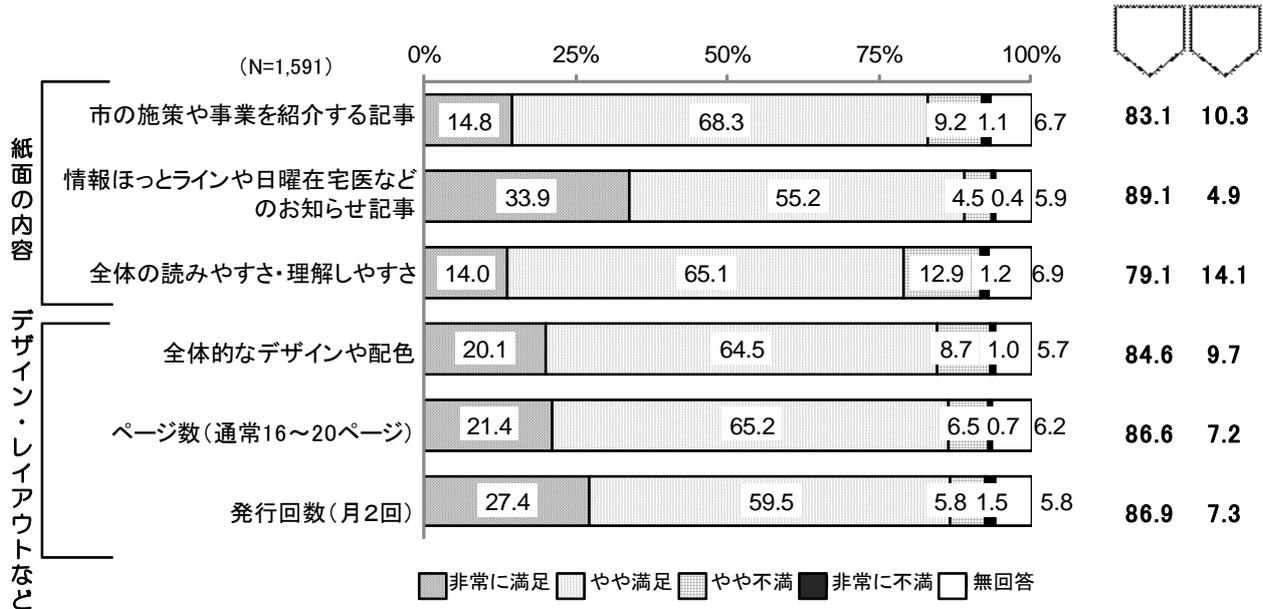


4. 広報

(1) 「広報くるめ」の評価

◆「広報くるめ」の紙面やデザインなどについて8割前後の人が「満足」。

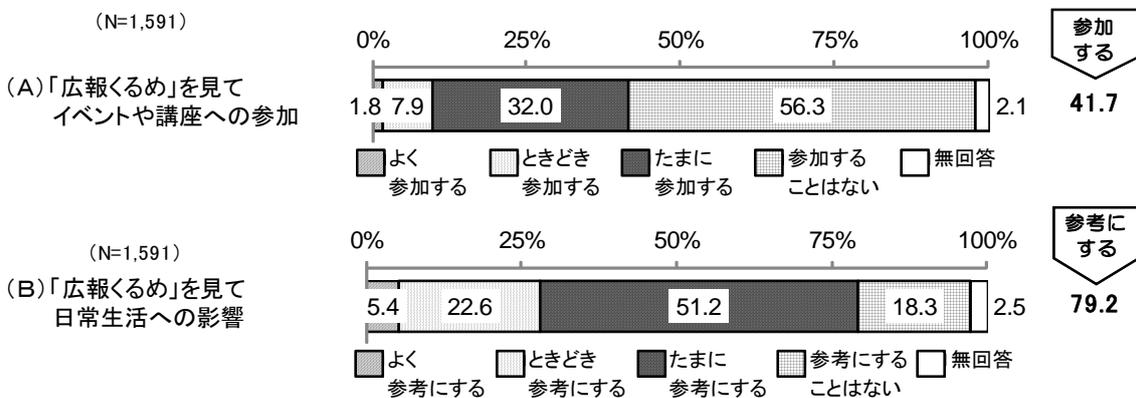
問 「広報くるめ」の紙面についてどのようにお考えですか。次の各項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印）



(2) 「広報くるめ」の活用度

◆「イベントに参加」する人は約4割だが、「日常生活の参考」にする人は約8割。

問 「広報くるめ」に掲載した記事や情報を見て、実際にイベントなどに参加することはありますか。また、災害への備えや節電、食中毒防止など日常生活の参考にすることがありますか。（あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印）

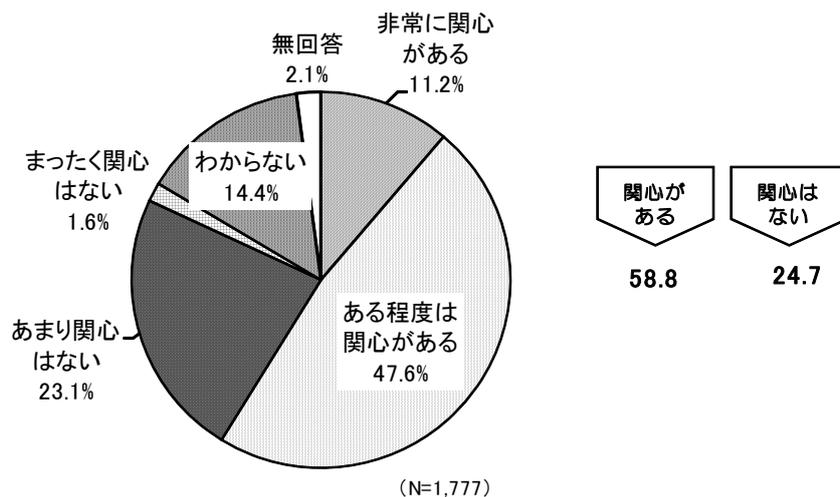


5. 障害者福祉

(1) 障害者福祉について

◆「関心がある」人が6割弱。

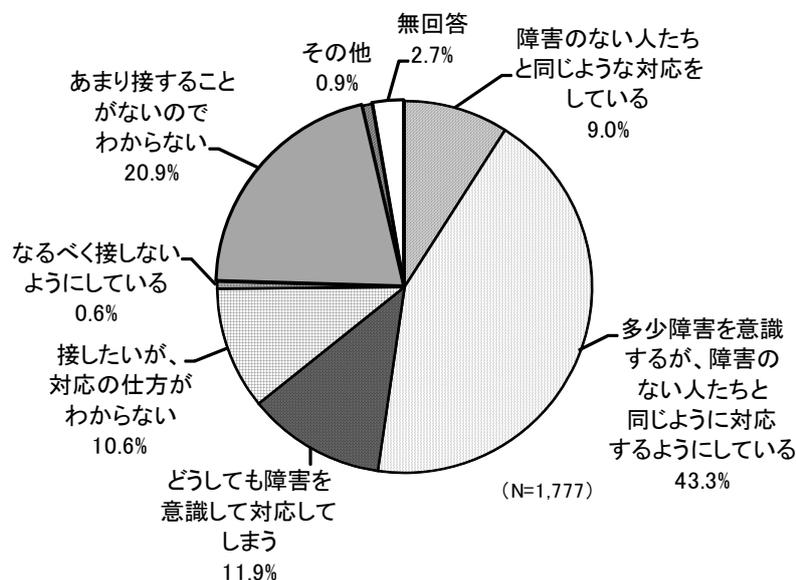
問 あなたは、障害者福祉に関心を持っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



(2) 障害のある人への接し方

◆「多少障害を意識するが、障害のない人たちと同じように対応するようにしている」が43.3%で最も多い。

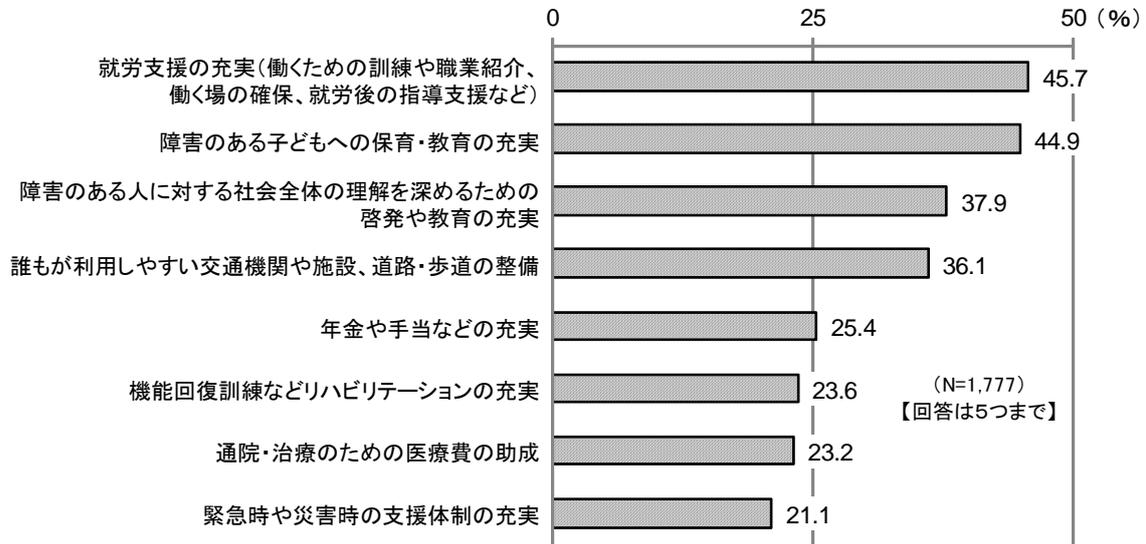
問 障害のある人が日常生活を送ったり、社会的な活動に参加するには、周囲の人たちの支援が必要です。障害のある人への接し方について、最も近いと思うものを選んでください。(あてはまる番号に1つだけ○印)



（3）障害のある人の自立と福祉の向上に向けて

◆「就労支援」と「子どもの保育・教育」の充実が4割を超えて上位。

問 今後、障害がある人の自立と福祉向上のための支援として、久留米市はどのようなことを重点的に進めるべきだと考えますか。（あてはまる番号に5つまで○印）



●ブロック別サンプル構成

ブロック別	配布数	有効回収数	有効回収率
東 部	280	257	91.8%
北 部	310	273	88.1%
中 央 東 部	250	219	87.6%
南 東 部	210	190	90.5%
中 央 部	260	230	88.5%
中 央 南 部	330	289	87.6%
南 西 部	170	154	90.6%
西 部	190	165	86.8%
合 計	2,000	1,777	88.9%

●調査対象者の構成

N=1,777		回収数 (票)	比率 (%)
性 別	男 性	826	46.5
	女 性	951	53.5
年 齢	20歳代	215	12.1
	30歳代	292	16.4
	40歳代	319	18.0
	50歳代	357	20.1
	60歳代	403	22.7
	70歳以上	191	10.7

●ブロック別校区名

ブロック	校 区
東 部	山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北 部	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	鳥飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西 部	城島、下田、青木、浮島、江上、犬塚三瀧、西牟田

第 35 回（平成 23 年度）
久留米市民意識調査報告書〈速報版〉
平成 23 年 10 月

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課
久留米市城南町 1 5 番地 3
TEL. 0942-30-9015
FAX. 0942-30-9711
E-Mail. sodan@city.kurume.fukuoka.jp